

活動報告書

支部・委員会：総務委員会

開催行事：平成23年度新春セミナー

日時：平成24年1月27日(金) PM2:00～(講演PM3:30～)

場所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

開催人数：135名



平成23年度新春セミナー 会長挨拶

一般社団法人
宮城県損害保険代理業協会
会長 折橋 久昭

皆さま 年頭のご挨拶を申し上げます。本日は大変お寒い中、日本損害保険協会東北支部乙守副委員長、五十嵐事務局長をはじめ、当会の顧問であります宮城県議会議員の菅間様、各保険会社の皆様、協力整備工場の皆様にもご参加いただき、誠にありがとうございます。

昨年1月25日の新春セミナーでご挨拶をさせていただいたときは、あのような大震災が起こるとは夢にも思っておりませんでした。3月11日私は、日本損害保険代理業協会の臨時総会で東京におりました。東京も震度が大きく交通機関は全部ストップしました。翌日車で20時間かけて仙台に帰ってまいりましたが、想像をはるかに超えた惨状でした。当社の事務所は現在は取り壊してありませんが、電気・水道が無事でなんとか仕事ことができました。しかし一週間程は、ほとんどのお客様へ連絡がとれず仙台の中心部のお客様へお伺いするのがやっとでした。沿岸部の代理店さんは、津波により事務所・自宅の流失、浸水等によりライフラインが使えず、パソコンもだめ、ガソリンもなく車もだめで、仕事どころか生活もままならない中、お客様へ保険金の早期支払いのため、一生懸命行動された姿を見てまいりました。心から敬意を表し感謝申し上げます。

さて今年も日本の経済状況はヨーロッパ不安によるユーロ問題等、まだまだ先行きが見えない状況です。また日本政府は社会保障と税の一体改革として消費税のアップを実行しようとしております。またTPPも実行しようとしています。TPPは保険業界にとって影響がないという人と、いや代理店制度が変わるかもしれない、また保険会社が東南アジアに進出ができるという人もおります。このような状況では、保険市場の拡大は望めないと思います。少子高齢化、若者の車離れ、そして消費税アップになれば建物の建築も少なくなるのではないのでしょうか。このように代理店は大変厳しい状況におかれております。

しかし東日本大震災で、多くの消費者の方は保険の重要性を認識されたと思います。我々代理店は、お客様のニーズにあった保険を「face to face」で拡販していくことにより、お客様を守ることになるのではないのでしょうか。

宮城代協は消費者の皆様、会員の皆様、業界の発展のため活動していく所存です。日本損害保険協会、協力整備工場の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

最後に本年は良い年でありますよう、またご出席の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本日は大変ありがとうございました。

平成23年度 新春セミナー 来賓挨拶



(社) 日本損害保険協会東北支部

副委員長 乙守 順市様より

ご祝辞を頂きました

宮城県議会議員

管間進様より

ご祝辞を頂きました



ご来賓のご紹介

向かって右から

(社) 日本損害保険協会
東北支部副委員長
乙守 順市様

宮城県議会議員
管間 進 様

(社) 日本損害保険協会
東北支部事務局長
五十嵐 朗 様



平成23年度 新春セミナー 来賓挨拶

社団法人 日本損害保険協会東北支部
副委員長 乙守 順市 氏

皆様 こんにちは。ただいまご紹介に預かりました日本損害協会東北支部の副委員長を務めております、三井住友海上の乙守と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

そして本日は宮城県損害保険代理業協会新春セミナーの開催、誠にありがとうございます。セミナーの開催にあたりひとことご挨拶を申し上げます。

ご挨拶の前にひとこと、余談ですが、こちらに来る間、今日は本当に雪が大変でございました。

私は単身赴任者用のマンションに住んでおりますが、今日は早く目が覚めまして外を見ますと真っ白になっておりました。雪が降る日は朝早く目が覚める習性がございまして、入社以来29年間損害調査の仕事をしておりまして、雪が降る日は事故が沢山起きます。火災保険の雪災も起こりますけど、自動車事故が大変発生いたします。

以前は今のようにはコールセンターがあまり発展していなくて、事故の受付がその日にどんどんサービスセンターに入ってくるという状況でございまして、雪が降った日はとにかく早く10分でも15分でも早くセンターに出て事故の受付をする。もちろん代理店の皆さんの方にもどんどん事故の受付が入ってくるのですが、そういった習性がある朝早く目が覚めるのだと思います。

もうひとつ雪に関する事で申し上げますと、雪道での自動車事故と言いますのは、いろんな複雑な雪と自動車の動きが重なり、複雑な事故が発生するという経験を致しました。

そういう意味では皆さん事故処理の中でよく悩まれると思うのですが、過失の割合で結構もめますが雪の事故はもっともめます。そういう苦勞をしたという事を今朝思い出していたところです。

その為にはやはり、必ずお客様に車両保険をお勧めいただき、且つ、お怪我された方のためには人身傷害保険を必ず付けて頂く、という事を余談としてお願いできればと思います。本日の資料の中に雪災にむけてのパンフレットが入っていましたが、そのような事を感じた次第でございまして。

宮城県損害保険代理業協会の皆様には本当に各保険会社はもとより損保業界の諸活動につきましても日頃から格別のご支援を賜り本当に厚く御礼を申し上げます。

先ほど会長からお話がありました、去年は東日本大震災が発生いたしまして、甚大な被害を被りました。代協の皆様も公私ともに大変なご苦勞をされたと承知しております。

まずは被災された皆様に対して衷心より哀悼の意を表すると共に、一日も早い復興がなりますよう心よりお祈り申し上げます。

私も3月11日は会長と同様東京にいました。本社のビルの24階で会議をしておりました。東京も大変揺れました。東北の地震という感じがなくて、関東大震災がきたのではないかと思いました。その後階下のテレビを見ますと気仙沼に津波が来る映像を目の当たりにしまして、本当にショックを受けた事が、昨日の事に思い出されます。翌日車で11時間掛けて仙台に帰って参りました。13日の夜中の2時に仙台に着きましたが、仙台は真っ暗で停電しておりました。

社団法人 日本損害保険協会東北支部
副委員長 乙守 順市 氏

その時の印象が胸に突き刺さっております。

そのような大震災の中、代理店の皆様は自らも被災者でありながらお客様のために我が身を惜しまず保険金のお支払いに奔走されたと賞しております。

正に地域に密着した皆様があつて、損害保険協会が地域の安心を提供できるということを深く認識させられたところでございます。

さらに、石巻、気仙沼では損保巡回相談がございました。代協幹部の皆様には大変ご協力頂きまして損保協会の社員と共に現地での相談に当たっていただきました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございます。

今回の震災対応につきましては、社会からは一定の評価を頂いたと思っております。こう言った評価を頂いたのも、皆様のご尽力があつたからこそと思っております。今後とも損害保険業界の一員として共々に前進してまいりたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

今日は、今年の協会の活動についても少しお話をさせていただきたいと思っております。

本年より損害保険大学課程試験が開始されます。これまで、皆様方の方で、実施していただいた認定保険代理士の制度と損保協会が実施しておりました専門試験を合体したという内容で、実施をするということになっております。お客様に選んで頂ける保険の専門家を認定する試験となるものと思っております。この試験運営も皆様方のご協力をいただく事になっております。

また、損保ADRセンターの業務がこの4月から本格稼働いたします。ここ仙台にも「損保ADRセンター東北」が設置される事になります。消費者の声を基点とした業務が求められている中、保険商品開発・保険の募集・保険金のお支払い等一連の業務品質向上に向けて重要な機関になるものと思っております。

さらに3月9日には皆様と共に東北財務局、宮城県と共催で防災に関する市民大学講座を開催致します。

そして震災後1年となる3月11日には「防災啓発・地震保険啓発」の街頭活動も予定しております。こちらにつきましてもご協力の程よろしくお願い申し上げます。

本年も大変厳しいマーケット環境が予想されております。楽観の出来ない年となりそうです。各保険会社・損保協会とも、代理店の皆様とともに損害保険協会の発展のために業界に求められる役割をしっかりと果たしてまいりたいと思っております。

本年も皆様方からのご指導・ご鞭撻、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

最後に皆様方のますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、甚だ簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。ご静聴どうもありがとうございました。

平成23年度 新春セミナー 来賓挨拶

一般社団法人宮城県損害保険代理業協会 顧問
宮城県議会議員 菅間 進 氏

本日は新春セミナーの開催、誠におめでとうございます。

ご紹介いただきました顧問を務めさせて頂いております県会議員の菅間進でございます。

折橋会長さん、そして損保協会東北支部の乙守副委員長さんが昨年の大震災の事また、皆様が大変地域にご貢献頂いた事、業界のこと全てお話されたので、私の方からは今世の中はどういう風の流れに流れていって、今年はどういう風に動いていくのかという事を少しだけ私なりに感じている事をお話させて頂きたいと思います。

まず、宮城県としては10年計画で復旧・復興そして新たな宮城県を作るということで、昨年の9月議会で復興計画案を提示し議会在認めて復興計画ということになりました。

10年というものが本当に短いのか、長いのか個々の価値観があるとおもいますが、それだけご案内の通り宮城県の沿岸部の被災は大変な事だということだと思います。

仙台市においては11月の議会で5年で仙台市を元気にするという事でありまます。もちろん仙台市も若林区や宮城野区の沿岸部で大変な被災がありましたし、折立団地を象徴するような宅地被害が沢山ありました。しかし宮城県全体から考えた時に宮城県全体の被害が大きかったと、例えて言えば石巻市のガレキの処理量が通常年間の100年分という莫大な量です。100年分です。また、宮城県全体でも23年分という量です。第一次ガレキ処理がだいたい進んできて、第二次ガレキ処理をどのようにするかの、石巻地域では約2000億という大プロジェクトを鹿島建設が引き受けて契約が成りました。

来年25年の3月末までに処理を終わるという事です。新聞報道でご案内の様に、放射能汚染の問題がございまして、引き受けてくれるところは有りません。宮城県内だけでは処理できません。

しかしながら、残念ながら「絆」という言葉が有りながら、やはり実際自分たちの事になると「放射能汚染の問題が怖いから引き受けるの困りますよ」という他県の動向が有ります。もちろん当然の事だと思いますので、放射能の汚染についてはきちっと検査をして送り出していくという事をしていかななくてはなりません、そんな現実があるということをご分かっていただきたいなと思います。

しかしながらある部分では宮城県仙台市は復興特需という形で、皆さん感じているんじゃないかなと思います。日本全国を見ますとまた、東京を見ても定期的に乙守副委員長さんも東京に行かれると思いますが、そんなに元気が無いんですよ。ただ、宮城県仙台市はやはり、建設土木工事を中心としたまた、住宅建設を中心とした、建設業の復興特需があるわけですね。そこにどのように保険が関わってくるのかというところで、やはり商売という形でみればでてくるのかなとおもいますが、私は実際確認しておりませんが、ちょっと卑近な例ですが国分町はキャバクラが100件増えたというような事も聞いております。実際たぶんそうなんだろうと思います。そういったお金が、宮城県が10年たって（仙台の場合は5年ですが）一過性のもので、経ってしまったらタクシーに乗ったら「このところ火が消えたようですよ」ということにならないように、政治経済の世界で一生懸命新たな産業の育成とか、

一般社団法人宮城県損害保険代理業協会 顧問
宮城県議会議員 菅間 進 氏

そういったものをただ復活するのではなくやっていかななくてはならないという事が基本的な目標です。

先ほど建設業またサービス業の繁盛振りをお話しましたが、かたやこれもお案内の通り温泉旅館秋保・作並においては大変な落ち込みがあると、これは放射能汚染問題での風評被害も含めて実際あるわけで、その交渉に来月の6日組合の方が東電と話し合いをするような場が有ります。私も同行いたしますが、そういった問題、そして秋田や青森の温泉旅館関係も具体的に言えば男鹿温泉あたりは大変な不況で客が来なくて倒産しているところも出てきていると。青森の十和田湖畔温泉についてもそのような状況になってきているということで、決して東北全体から見たらかなり厳しい状況で、だんだんだんだんボディブローが効いてきて全体的には厳しい環境下にあるのかなと思います。

ただ繰り返し申し上げますように宮城県仙台はそういった中である意味では恵まれた状況に有りますので、元気なところが元気であって、そして引っ張っていかなくてはならないという使命を東北6県の中で持っておりますので、どうか皆様には損保・生保という形でぜひそういった方々をサポートしていただくことを心よりお願いしたいと思います。

今日はこの後に常盤木学園高校の阿部監督の講演がありますが、私も随分昔から知っておりますが、いい話を聞いて元気を貰って、また明日からの活動に繋げていただきたいと思います。

今年も皆さん共に頑張ってくださいませ。ありがとうございました。

第12回日本代協保険代理士認定書授与式



2年間の通信教育、4度の講習、そして認定試験。本当にご苦労様でした。

宮 城 代 協 認 定 保 険 代 理 士

平成24年1月27日

平成23年度新春セミナーにて認定された保険代理士（第12期） 14名

認 定 番 号 順

	氏 名	代理店名	所属支部	代申会社	
1	ヒノ コウキ 榎野 孝喜 様	HIT保険事務所 (株)	古川支部	損保ジャパン	
2	モリ シンスケ 森 晋介 様	(有) 仙北保険サービス	古川支部	三井住友	
3	サトウ チサト 佐藤 千里 様	(株) エス・ハート	仙台南支部	三井住友	
4	サトウ アケミ 佐藤 明美 様	(株) エス・ハート	仙南支部	三井住友	
5	タナカ ヒデホ 田中 秀穂 様	(有) アイ・エス・ユー	仙塩支部	三井住友	欠席
6	ゴボウ タカヒロ 後坊 貴洋 様	(株) 庄司保険事務所	仙台東支部	損保ジャパン	
7	ミネムラ ユウキ 峰村 有紀 様	(株) ウィン・ワズ	仙台東支部	三井住友	欠席
8	イコマ マサヒロ 生駒 正博 様	(株) 東北安田	気仙沼支部	損保ジャパン	
9	カタオカ ムツコ 片岡 睦子 様	HIT保険事務所 (株)	古川支部	損保ジャパン	
10	トキタ シュンイチ 鳩田 俊一 様	(株) ブリーズ	古川支部	損保ジャパン	
11	タカハシ タツオ 高橋 辰雄 様	あいおい損害保険 (株)	あいおい	保険会社社員	欠席
12	コンノ イサオ 今野 勲 様	今野保険事務所	中央支部	日新	
13	ホリキ ヨシヒロ 堀木 義弘 様	ライフサポートFPオフィス	仙台東支部	日新	
14	ウチダ ナオコ 内田 直子 様	(株) オンワード・マエノ	仙台中央支部	AIU	欠席

平成23年度新入会員 ご紹介 7名

入会日	氏 名	代理店名	所属支部	代申会社
1 平成23年7月21日	ノダ ケンイチ 野田 健一 様	(有) クレア	仙台中央支部	あいおいニッセイ同和
2 平成23年7月27日	メダロ ツヨシ 目黒 毅 様	(株) 自然堂	仙塩支部	損保ジャパン
3 平成23年11月7日	コンノ サトシ 今野 智志 様	総合保険リライランス	仙南支部	三井住友
4 平成24年1月5日	アベ テツオ 阿部 哲男 様	(株) ブリーズ	古川支部	損保ジャパン
5 平成24年1月18日	サトウ ヨシユキ 佐藤 義之 様	いずみ・保険のサトー	仙台北支部	三井住友
6 平成24年1月24日	マツキ キヨタカ 松木 清孝 様	マツキ損害保険事務所	仙台北支部	日本興亜
7 平成24年2月1日	ミヅウ ヨウイチ 水沢 洋一 様	水沢保険事務所	仙台中央支部	あいおいニッセイ同和

活動報告書

支部・委員会：総務委員会

開催行事：平成23年度新春セミナー 講演会

日時：平成24年1月27日(金) PM3:30～

場所：仙台市戦災復興記念館 記念ホール

開催人数：135名

平成23年度新春セミナー 講演



常盤木学園高等学校教員
女子サッカー部監督
阿部由晴氏

昨年の「なでしこジャパン」のワールドカップ優勝は、東日本大震災後の宮城県民にも勇気と感動を与えてくれました。

その、なでしこジャパンの活躍、日本女子サッカーの礎を築いてきたお一人でもある阿部由晴監督のご講演は映像と音楽、そしてユーモアもまじえた90分間の我々代理店にとっても大変参考になるご講演でした。

